



- 新型コロナウイルス感染症は、誰がかかっても不思議ではない病気です。感染してしまったり、濃厚接触者となったりした人は、病気への不安とともに、学校みんなが気持ちよく受け入れてくれるのだろうか、心も体もしんどい思いをして過ごしています。これらの子どもたちが、つらく不安な期間を経て登校してきた時には、優しい言葉がけや思いやりを持って温かく接してほしいものです。やっと病気が快復して、元気に学校生活を送ることができると楽しみに登校してきた人が、つらいことを言われたり、傷つき悲しむようなことを言われたりされたりしたら、どれほど心痛め、悲しみ苦しむでしょうか。それは私たちの想像以上だと思います。いわれのない偏見や差別、心ない誹謗中傷、いじめ、これらの行為は決してあってはならず、人として許されることではありません。
- 子どもたちは、時として正しく判断できず、結果としてとても残酷なことをしてしまうことがあります。SNSなどを通じて、感染した人を推測したり特定しようとしたり、また誰かのせいで休校になったりしたなどと、仲間に広めてしまうこともあります。保護者の皆様、どうか子どもたちの様子を把握していただき、温かい心を持って人とのかわりができるように支えていただきたいと思います。子どもたちはとても優しく温かい心をあわせ持っています。心も体もしんどい思いをしてきた仲間が登校してきた時に、思いやりある温かい心で接し、勇気づけられるような言葉をかけることができるのも、子どもたちのよさです。学校というところは、さまざまなことが起こりますが、人の優しさに触れ、心が温まる、そんな場所であるべきだと思っています。
- 新型コロナウイルス感染症は、私たち大人や子どもの生活に大きな影響を与えています。そのマイナスの影響は計り知れません。だからこそ、みんなが前を向いて過ごせるように、思いやりや温かい心が必要だと思います。人の気持ちを想像し、考え、どうすればいいのか。どうか、ご家庭でもお話しをしていただけると幸いです。